

# NEWS RELEASE

---

## 「あおぞらアンケート ～ITを使ったビジネス変革～」の実施について

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）：馬場 信輔、本店：東京都千代田区、以下「当行」）は、事業法人および金融法人に対して「ITを使ったビジネス変革」への取り組みに関するアンケート調査を実施いたしました。

本アンケート調査は、あおぞら銀行の100%子会社であるシンクタンク、あおぞら地域総研株式会社（取締役社長：穂刈 俊彦、本店：東京都千代田区）を通じて、当行の金融法人・事業法人のお客さまのご協力を得て行ったものです。

### <アンケート調査結果概要>

【アンケート回答先】 事業法人 749 社、金融法人 301 社

#### 【要旨】

「ITを使ったビジネス変革」に関して、事業法人が求めるサービスと金融法人が提供するサービスを対比させたところ、「消込ができる口座」、「海外送金」、「CMS」、「口座一元管理」、「会計記帳」について、取り組みたいとした企業の割合は、サービス提供中とした金融法人の割合を大きく上回るといふギャップが生じていました。

#### ○事業法人（図表1）

- ▶ 「資金決済」について取り組みたいものは、「振込・振替(59.5%)」が最も多く、次いで「総合振込(50.7%)」となりました。大量の取引を低コストで処理するニーズが高くなっています。

#### ○金融法人（図表2）

- ▶ 事業法人に対してサポートしたい業務について、対応する必要性が高いと認識しているものは、「モバイル決済(72.0%)」、「振込・振替(75.7%)」、「総合振込(82.4%)」、「でんさい(83.6%)」となりました。大量の取引を低コストで処理したいという事業法人のニーズに沿っています。
- ▶ 事業法人に対してサポートしたい業務について、対応する必要性が低いと認識しているものは、「消込ができる口座(83.2%)」、「CMS(82.5%)」、「ソーシャルレンディング(77.9%)」、「証券連携口座(83.6%)」、「情報銀行(82.9%)」となりました。

#### ○事業法人と金融法人の比較（図表3）

- ▶ 「振込・振替」、「総合振込」という大量の取引を低コストで処理することに関して事業法人のニーズと金融法人のサービスは一致しています。
- ▶ 「デビットカード」、「でんさい」は、法人取引先が IT を使ったビジネス変革を進める際、金融法人がサポートしたい業務として多くの回答があります。一方、事業法人の「デビットカード」、「でんさい」に対する関心は高くありません。
- ▶ 「消込ができる口座」、「海外送金」、「CMS」、「口座一元管理」、「会計記帳」は、金融法人のサービス提供状況に比べ、事業法人の取り組み意向が高くなっています。

## <あおぞらアンケートの特色>

### ○金融法人、事業法人を同時に調査

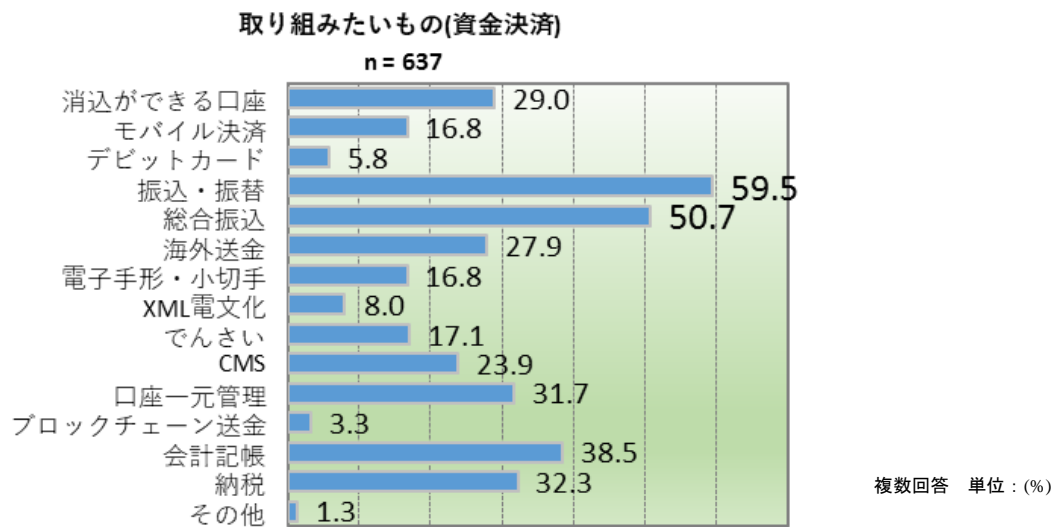
本アンケート調査は、金融法人<sup>(\*)</sup>と事業法人に対して同じ質問を投げかけ、その対比を明らかにしています。集計結果は、わが国の現在における産業、金融の多面的な構造を明らかにしています。

<sup>(\*)</sup>金融法人：全国の当行お取引先金融法人（地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合等の地域金融機関）を対象としています。

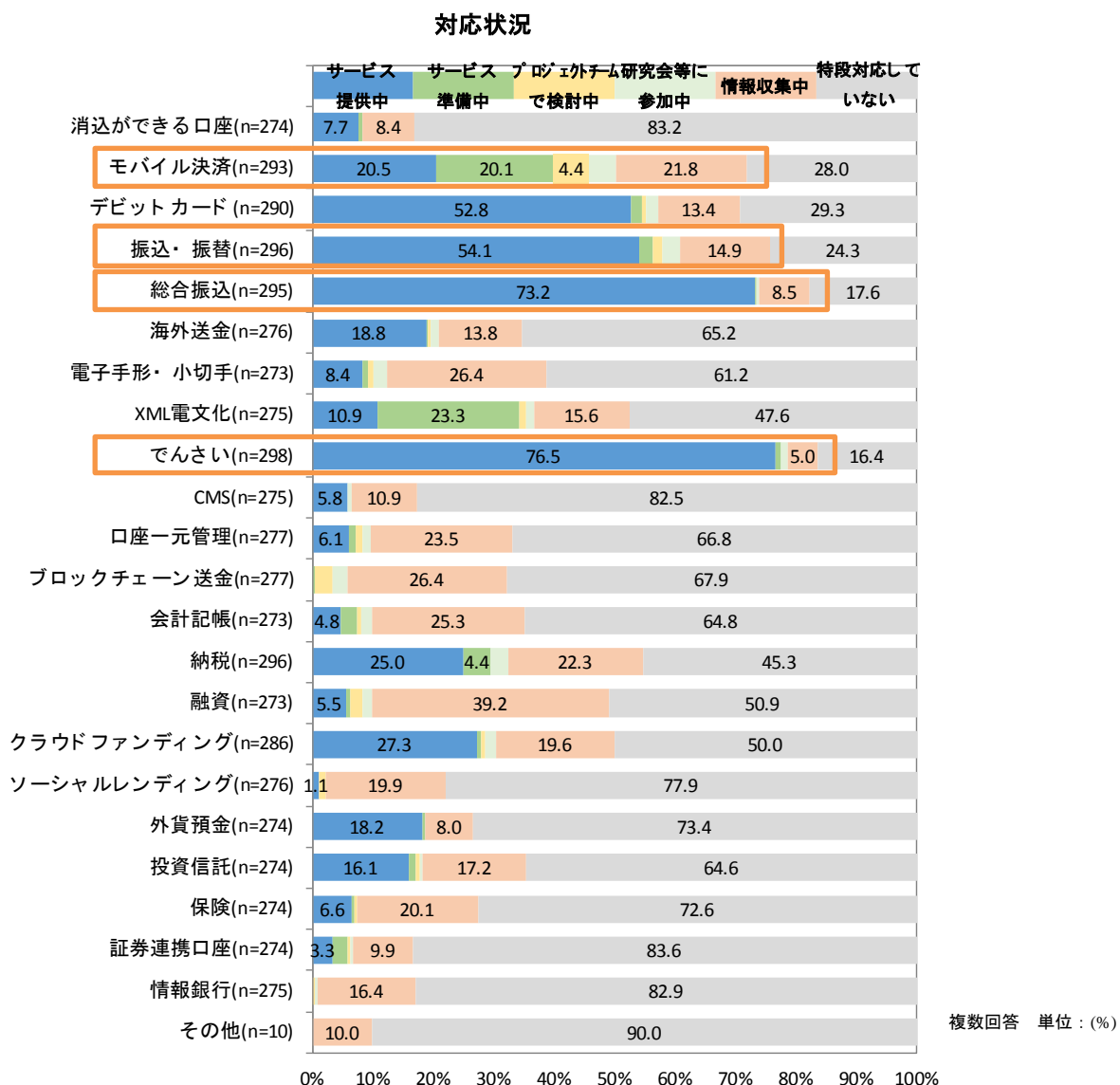
以上

（報道関係のお問合せ先：経営企画部 広報室 後藤 03-6752-1217）

図表 1 事業法人の回答



図表 2 金融法人の回答



図表 3 事業法人と金融法人の比較

